

日本分類学会連合ニュースレター  
*News Letter published by the Union of  
 Japanese Societies for Systematic Biology*  
 No. 39 [2022年6月30日]

## 日本分類学会連合のトピックス

\*\*\*\*\*

### 第21回日本分類学会連合公開シンポジウム

日本分類学会連合第21回公開シンポジウム「共生一  
種を超えたつながり」が、2022年1月8日(土)に  
オンラインで開催されました。コロナ禍の下でのオンライ  
ン開催という選択でしたが、盛会となり、126名(事前  
申込数191名)の参加がありました。シンポジウムの要  
旨は、日本分類学会連合公式ウェブサイトの以下のURL  
からダウンロードできます。

<http://www.ujssb.org/sympo/index.html>

\*\*\*

### 2021年度活動報告

2021年度(2021年1月1日~2021年12月31日)に  
おける当連合の主な活動は以下の通りです。

- 2021年1月9日 第20回総会・シンポジウム「分類  
学のすすめー未来の分類学者に向けてー」開催  
(オンライン開催)(事前申込数:257名、参加者  
数:188名)。
- 2021年1月25日 日本分類学会連合第45回役員会  
開催。
- 2021年5月27日 生物科学学会連合第23回定例会  
議出席(代表、庶務)。
- 2021年6月14日 ニュースレター37号発行。連合HP  
に掲載。
- 2021年6月22日 国立国会図書館によるインターネ  
ット資料収集保存事業について、当連合HPの保  
存を許諾。
- 2021年7月6日 日本分類学会連合第46回役員会開  
催。
- 2021年7月12日 当連合HPトップページに、ABS関  
連の相談・支援依頼についての問合せ先リンクを  
表示。
- 2021年10月24日 藤原NH財団シンポジウムへの後  
援を許諾。
- 2021年11月30日 加盟団体MLにてDORA署名に関  
する意見調査を実施。
- 2021年12月10日 ニュースレター38号発行。連合  
HPに掲載。
- 2021年12月21日 日本分類学会連合第47回役員会  
開催。
- 2021年12月23日 生物科学学会連合第24回定例会  
議出席(代表、庶務)

### 特別寄稿

#### NBRP第5期の下でのABS支援事業の継続のご報告

江口克之・村上哲明・菊地波輝・Francesco Ballarin

東京都立大学理学研究科生命科学専攻

私たち、東京都立大学牧野標本館ABS支援チーム  
(ABS-MAK;代表:村上哲明)は、2017年度からの5年  
間、NBRP(ナショナル・バイオリソース・プロジェクト)  
第4期(2017~2021年度)の事業の一つとして、分類・  
生態学分野の研究者がABS(名古屋議定書)のもとで、  
海外の遺伝資源を用いた研究を適切に実施できるよう  
に支援事業を展開してきました。この事業を進める上  
で、日本分類学会連合およびその加盟団体のご理解と  
ご協力は不可欠であったため、連合内にもABS対策ワ  
ーキンググループ(ABS-WG:座長・村上哲明)を立ち上  
げさせていただき、連携を図ってきました。

おかげさまで、NBRP第4期の事後評価においてABS支  
援事業は非常に高く評価され、また、NBRP第5期(2022  
~2026年度)においても、ABS支援事業を継続できるこ  
ととなりました。NBRP第5期での分担機関課題管理者  
は江口が務めさせていただきます。引き続き、どうぞよ  
ろしく願います。

第4期の実績、皆様方からの要望も踏まえ、引き続き、  
以下の内容を中心に事業展開していきたいと考えてい  
ます。

#### (1) 提供国のABSに関する状況の調査

主に東南アジア・太平洋地域の提供国としてのABS対  
応状況を継続調査します。この5年間でもABS関連法  
の内容や運用が変化しつつあるため、我々が共同研究  
を行う海外(主に遺伝資源提供国)の研究者や研究指導  
する大学院生から、最新の情報を収集します。

#### (2) 利用国のABSに関する状況の調査

ヨーロッパやアメリカ、オーストラリアなどにおける  
利用国としてのABS関連実務事例を収集します。特に、  
ABSルールの違反や係争に起因する、提供国からの論文  
撤回要求や、研究者個人・研究機関に対する何らかの制  
裁に関する情報は、適切な情報提供や支援活動に不可  
欠です。

#### (3) 研究者などへの遺伝資源取得支援

ABSに対応した学術協定や成果有体物移管契約書など  
の文案の作成、ABS関連実務の成功事例の収集や手続き  
のマニュアル化など、支援活動に活用します。

また、日本分類学会連合加盟団体からの要望に応じて、  
研究事例に基づくABS講習会なども行います。

#### (4) 国内外での ABS に精通した研究者の育成

日本国内および東南アジア・太平洋地域の研究機関に所属し、分類学・生態学分野の研究に携わる若手研究者を、ABS に精通した研究者・研究支援実務者として育成します。提供国の研究機関の研究者・研究支援実務者が自国の ABS 関連法を十分理解していないという状況が決して珍しくないためです。

#### (5) 国内学会などにおける ABS 対応の促進

日本分類学会連合と連携し、分類学・生態学分野の国内学会などにおける ABS 対応の「見える化」を推進します。例えば、ABS 担当委員を学会の執行部や学会誌編集委員会内に設置する、学会などのウェブサイトにて ABS 順守を表明する、国立遺伝学研究所 ABS 学術対策チームのリンクを貼るなどの方法があります。このことについては、2022年1月8日の日本分類学会連合総会にて ABS-WG より呼び掛けさせていただきました。その後、多くの加盟団体が迅速かつ積極的に対応してくださり、非常に心強く感じました。

いくつかの団体の編集部には、江口や Ballarin が ABS アドバイザリーエディターとして参加させていただいております。

また、公益財団法人・日本科学協会では研究助成の募集要項の中で、研究倫理等に関する注意事項として、ABS 順守の必要性について明記くださっています(財団の許可を受けてここに紹介します)。ABS に適切に対応することが、多国籍の研究者の間での長期的なパートナーシップの強化につながるということの理解が広まりつつあると感じています。

#### (6) バランスの取れた ABS ルールの実現

開発途上国の一部からの要望により、公共データベースに登録されている DNA 配列情報 (DSI) の利用を追跡し、そこから得られる利益の配分の仕組みを ABS のもとで構築すること、DSI 利用料という形で徴収することに関して、COP で議論が続いています。しかし、この新たな仕組みは、「利用国」に分類される先進国の研究者だけでなく、開発途上国の研究者にとっても、研究遂行上の大きな金銭的な負担をもたらす可能性があります。私たち分類学・生態学分野の研究者が開発途上国から受け入れている留学生は、ほぼ例外なく、自国だけでなく近隣国・地域に由来する野生生物の DNA 配列情報を GenBank などからダウンロードし、研究に利用しています。つまり、開発途上国が常に「提供国」ではないのです。私たちのような先進国の研究者にとって DSI 利用料はおそらく小さな負担でしょうが、東南アジアの研究者、特に研究費の少ない若い研究者にとっては大きな負担となります。このような発想の背景には、ABS が CBD の精神から乖離し、先進国と開発途上国の間の経済的・政治的な問題になっていること、開発途上国の政治家や官僚が、自国の研究者がどのように研究を行い、近隣国・地域の DNA 配列情報を用いた研究が自国の生物多様性の保全や生物資源の持続的利用にどれほど貢献してきたのかを正しく理解していないためであると考えられます。

ABS-MAK が開発途上国の政治家や官僚に直接働きかけることは現実的ではありませんが、拠点研究機関の研究者や研究支援実務者との信頼関係の醸成のため、研究打ち合わせやワークショップなども積極的に重ねていきたいと思っております。

最後になりましたが、NBRP 第5期のもとの ABS-MAK の活動について、引き続きご理解とご協力を賜りたく、どうぞよろしくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

### 日本分類学会連合加盟学会の 大会・シンポジウム情報

新型コロナウイルスの流行状況によって、様々な学会で大会・シンポジウムのスケジュールや実施方法の変更が行われる可能性があります。各加盟団体のホームページから最新情報を入手してください。

#### 種生物学学会

2022年第54回種生物学シンポジウム

会期：2022年12月2日(金)～4日(日)

会場：未定

詳細：<http://www.speciesbiology.org/>

#### 日本貝類学会

日本貝類学会 令和4年度大会

会期：2022年11月12日(土)～13日(日)

会場：那覇市ぶんかテンプス館(那覇市)

詳細：<https://tenbusukan.jp/>

#### 日本魚類学会

2022年度日本魚類学会年会

会期：2022年9月17日(土)～20日(火)

会場：大阪公立大学杉本キャンパス(大阪市)

詳細：<https://www.fish-isj.jp/event/index.html>

#### 日本菌学会

日本菌学会第66回大会(大阪大会)

会期：2022年8月20日(土)、21日(日)、28日(日)

会場：オンライン

詳細：<https://www.mycology-jp.org/html/meeting.html>

#### 日本蜘蛛学会

日本蜘蛛学会第54回大会

会期：2022年8月20日(土)～21日(日)

会場：名古屋市立大学桜山(川澄)キャンパス(名古屋市)

詳細：<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/~nory/arach54/>

#### 日本原生生物学会

第55回日本原生生物学会大会

会期：2022年9月1日(木)～3日(土)

会場：法政大学小金井キャンパス(小金井市)

詳細：[http://protistology.jp/index.html#annual\\_meeting](http://protistology.jp/index.html#annual_meeting)

#### 日本古生物学学会

第2回アジア古生物学会議

2<sup>nd</sup> Asian Palaeontological Congress

会期：2022年8月3日(水)～7日(日)

会場：東京大学本郷キャンパス(文京区)

詳細：<https://www.apc2.org/>

#### 日本昆虫学会

日本昆虫学会第82回大会

会期：2022年9月3日(土)～5日(月)

会場：信州大学松本キャンパス(松本市)

詳細：<http://www.entsoc.jp/meeting/2022/>

**日本進化学会**

日本進化学会第 24 回沼津大会  
会期： 2022 年 8 月 5 日(金)～7 日(日)  
会場： プラザ ヴェルデ (JR 沼津駅北口)  
詳細： <http://sesj.kenkyuukai.jp/special/?id=1426>

**日本蘚苔類学会**

日本蘚苔類学会第 51 回島根県江津大会  
会期： 2022 年 8 月 5 日(金)～7 日(日)  
会場： 江津市役所多目的ホール (江津市)  
詳細： <https://www.bryosoc.org/>

**日本線虫学会**

日本線虫学会第 29 回大会  
会期： 2022 年 11 月 4 日 (金) ～5 日 (土)  
会場： オンライン  
詳細： <http://senchug.org/>

**日本ダニ学会**

第 31 回 日本ダニ学会大会  
会期： 2022 年 9 月 16 日 (金) ～18 日 (日)  
会場： 京都大学農学部総合館 (京都市)  
対面・Zoom ハイブリッド形式  
詳細： <https://acarology-japan.org/taikai/31-2022/ja/>

**日本地衣学会**

日本地衣学会第 21 回大会  
会期： 2022 年 9 月 3 日 (土) ～4 日 (日)  
会場： 愛媛県総合科学博物館 (新居浜市)  
詳細： <http://www.lichenology-jp.org/ja/>

**日本爬虫両棲類学会**

2022 年第 61 回沖縄大会  
会期： 2022 年 11 月 5 日 (土) ～6 日 (日)  
会場： 琉球大学 (西原町)  
開催形式未定  
詳細： [http://herpetology.jp/index\\_j.php](http://herpetology.jp/index_j.php)

**日本プランクトン学会**

2022 年度プランクトン・ベントス合同大会  
会期： 2022 年 9 月 2 日 (金) ～5 日 (月)  
会場： 高知大学  
オンデマンド・Zoom ハイブリッド形式  
詳細： <https://sites.google.com/view/pb2022kochi/>

**日本哺乳類学会**

日本哺乳類学会 2022 年度大会  
会期： 2022 年 8 月 26 日 (金) ～29 日 (月)  
会場： 三重大学生物資源学部 (津市)

日本分類学会連合は、「生物の分類学全般にかかわる研究および教育を推進し、我が国におけるこの分野の普及と発展に寄与することを目的(規約第 2 条)」として、2002 年 1 月 12 日に設立されました。現在、分類学に関係の深い 27 の学会が加盟しています。その後、本連合はこの目的に向かって様々な活動を展開してきましたが、このたび新たな事業として「メーリングリスト〈TAXA〉」を開設することになりました。このリストの趣旨は、本連合からの広報のほかに、登録会員が互いに分類学に関する情報交換や討論をするための場を提供することにあります。したがって、このリストは本連合の加盟学会の会員ばかりでなく、分類学に関心をもつすべての方に開放されます。なお、リストへの登録など管理、運営は本連合の担当者が行いますが、投稿は登録会員なら誰でも自由に行えます。多くの方が登録くださいますようお願い申し上げます。

2003 年 12 月 21 日  
日本分類学会連合  
代表:加藤雅啓

〈TAXA〉は 2003 年 12 月 13 日に開設され、2003 年 12 月 24 日午後 5 時に稼動開始しました。2020 年 4 月 1 日より新サーバーでの運用を開始しています。2022 年 6 月 30 日の時点で 1000 名の会員が登録されています。入会を希望される方は、  
1) メールアドレス  
2) 氏名(日本語表記ならびにローマ字表記)  
3) 所属  
を明記の上、office@ujssb.org までご連絡ください。

\*\*\*\*\*

**[編集後記]**

分類連合ニュースレターでは随時加盟学会員の皆様から広くご寄稿を募集しております。原稿は江口宛 (antist@tmu.ac.jp) に電子メールでお送りください。皆様からの多数のご寄稿をお待ち申し上げます。(ニュースレター編集担当: 江口克之)

\*\*\*\*\*

日本分類学会連合ニュースレター 第 39 号  
2022 年 6 月 30 日発行  
発行者 日本分類学会連合  
事務局 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1  
国立科学博物館・筑波研究施設内  
編集者 江口克之 (東京都立大学院理学研究科)

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

**TAXA —— 生物分類学メーリングリスト**

日本分類学会連合が運営するメーリングリスト〈TAXA〉は、生物分類学に関する情報交換や討論をするためのメーリングリストで、生物分類学に関心をもつすべての方に開放されています。〈TAXA〉メーリングリストは下記の趣旨により開設されました。